

平成31年2月20日

報道機関各位

長岡市農林水産部農水産政策課長



長岡市におけるコイヘルペスウイルス病の発生と対応について

長岡市内の錦鯉養殖業者1軒の錦鯉について、(株)県都食品環境分析センターでKHV病検査をしたところ、一次検査で陽性と判定され、国立研究開発法人水産研究・教育機構増養殖研究所（三重県）で確定診断を行いました。その結果、本日、陽性と診断されました。

現在、新潟県では、当該養殖業者の錦鯉の感染経路を調査しています。

市では、新潟県及び養鯉関係者団体など関係機関と再発防止策等の協議を進めており、長岡市錦鯉養殖組合では、組合員全員に注意喚起ステッカーを配布し掲出を徹底するなど、取り組み可能な対策を順次実施しております。

市は改めて長岡市錦鯉養殖組合に対し、今後も引き続き行政や関係機関と連携・協議を進め、検討結果を踏まえた対策の実施と、飼育中の鯉に異常が確認された場合の通報の徹底、他地域からの鯉の持ち込みには特に注意するよう要請しましたので、お知らせします。

【参考】

長岡市の発生状況

平成30年度	3件（今回の発生が3件目）
平成29年度	1件
平成28年度	1件
平成27年度	1件
平成24年度	1件
平成23年度	2件
平成22年度	2件
平成21年度	3件
平成20年度	3件

※全国では平成15年1月頃から発生。新潟県では平成16年7月以降から発生が確認された。

- コイヘルペスウイルス病は、マゴイ、ニシキゴイ特有の病気。コイ以外の魚には感染しません。
- 感染したコイに触れたり食べたりしても、人体への影響はありません。

問い合わせ：長岡市農林水産部農水産政策課
錦鯉ブランド戦略室 電話：0258-39-2223